

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	区民生活部文化交流推進課		
関連部課名		課長名	富樫 誉	内線	2520		
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]					
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]					
目的	活力に満ち魅力ある地域社会を実現するため、国内・海外都市との幅広い交流を積極的に推進する。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)	
	指標に関する説明						
	交流都市に対する区民の認知度		84.6			90.0	平成20年度はあらかじめモニターアンケート結果による
	交流事業に対する区民の認知度		50.0			70.0	同上。今後とも合わせて定期的に調査する。
交流都市への区民の訪問人数・交流都市からの市民の訪問人数の合計		1,050			1,500	各課交流事業連絡書記載事業と文化交流推進課事業の合計	
国際交流協会会員数	452	528	488		900	賛助会員数 + 協力会員数	
現状と課題（指標分析）	現在、国内18都市、海外4都市との交流があるが、その度合、態様には差がある。今後は各都市の特性を把握し、より相互補完的な交流を深めていく必要がある。 区民や区民団体主体の持続的な草の根交流への展開が必要である。 国際交流協会の活動について賛同者を増やすと同時に、区民の国際交流への理解をさらに深めていく必要がある。						
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 交流事業実施の際には、これまであまり頻繁に交流してこなかった都市を積極的に対象に加え、より幅広い文化や自然環境を区民に提供していく。 交流都市への区民の訪問について、区内の各種団体において国内外の交流都市との継続的交流事業が実施できるよう支援体制を整備し、相互の交流を活性化する。 国際交流協会について、ホームページを充実させるなどその事業を区民に周知徹底するとともに、外国人支援等の事業を強化し、会員の増加につなげる。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区民の国際理解推進のために欠かせない施策であるとともに、地域住民の生活環境の相互補完や文化の振興という観点からも、重要な役割を担っている。

施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設定	今年度 設定	
国内都市交流事業	03-02-02	2,002	1,884	重点的 に推進	重点的 に推進	交流資源を掘り下げ、区民主体の事業を展開する。
国際交流協会補助	03-02-03	5,857	5,604	重点的 に推進	重点的 に推進	区民主体の国際交流の推進母体として支援が必要である。
海外都市交流事業	03-02-04	12,954	9,675	重点的 に推進	重点的 に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。
ウィーン2009関連事業	03-02-05		6,127	休止・ 完了	休止・ 完了	日墺交流年事業に協力し、ウィーンと荒川区との交流を深める。
あらかわキャラバン事業	03-02-10	701	1,317	推進	推進	芸術文化面で区を代表する個人・団体を交流都市に派遣し、芸術文化振興を図る。
合 計		21,514	24,607			